



「積水ハウスいわきOB・OGハウス会」
に参加して
同会の一会員

誰もが知る歌に「螢の光」という曲がある。
歌を口ずさむと分かるが、螢の光や窓の雪明
かりで苦学、努力をして学問を修めた者達
がいよいよ別れる時の歌である。

その期間を想像してみると、多くは十年足
らずではないだろうか。

一方、社会に出て就業する期間は、様々な異
動、曲折を経て3、40年間に及ぶのである。
人生の大半ともいえるが、その引退を慰労す
る歌というのを私は知らない。

勤務した事業所には様々な思いが交錯してあ
る。悲喜交々（こもごも）の人生を分かち合
ったのである。

別れはある。だが、再会もある。

その思いを共有する交友会があれば、と思う
ある、のである。それが「積水ハウスいわき
OB・OG・ハウス会」。

十六年前に正式に定例化したのである。

四年に一度の開催であるが、これが楽しい！
参加した人々が、互いに交わす笑顔の内にあ
るのは“感謝”である。

この会に参加し続ける事が、老年のささやか
な目標の一つである。



温暖な気候と豊かな自然、そして都市の便利さがほどよくそろうまち、いわき。